

まえがき

石井 勲

本書は、20 年間にわたる漢字教育の実践を終えたばかりの昭和 42 年に刊行した“漢字の神話”の改訂版です。

漢字の神話は、発行後数カ月で発行所が倒産したため、わずか数千部を刊行しただけで廃刊になってしまいました。しかし、当時、かなり話題になるほど好評を得ていましたので、再刊を望む声も少なくなく、著者としてもその気持が強かったのですが、その後新しい仕事に追われ、実現できないでいました。ところが、最近、朝日ソノラマの藤石氏が来訪され、しきりに再刊を奨めて下さいましたので、ついに再刊することになりました。

しかし、あれからすでに 8 年たっていて、私の研究もかなり発展していますので、多忙とは言え、そのままの再刊では余りにも芸がなさ過ぎます。そこで第一章だけを全面的に書き改めました。

第一章は、漢字の神話の時も、朝日ジャーナルが“ショッキングな発言”だとして、まるまる 1 ページを費して紹介するなど、当時話題に

なったものです。

今度はさらに大きな話題を提供します。ぜひ話題にさせていただかなくてはならぬ重要な問題だと確信しています。読者各位の御考察と御批判を仰ぎたく存じます。